

インフルエンザ患者報告数が警報レベルを超えました!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗2,700	2,570	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 58	52	ヘルパンギーナ	↗ 1	0
咽頭結膜熱	↗ 32	27	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↘ 68	72
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	↗ 86	54	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 604	595	流行性角結膜炎 (はやり目)	↘ 22	28
水痘	↗ 18	11	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↘ 2	5	無菌性髄膜炎	↘ 1	4
伝染性紅斑 (りんご病)	↘ 48	81	マイコプラズマ肺炎	↘ 3	4
突発性発しん	↘ 27	32	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	↘ 7	15

インフルエンザ
報告が多い
感染症

感染性胃腸炎
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

インフルエンザ : 八代、菊池、人吉、宇城、山鹿、熊本市、有明
感染性胃腸炎 : 山鹿、菊池、有明、八代
伝染性紅斑 : 熊本市、人吉、宇城
流行性耳下腺炎 : 山鹿

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ 球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミ ジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
熊本市保健所	828	8	14	47	141	7	2	24	5		1	13		20		1	3		7
山鹿保健所	111				49			1	1			17	*	*					
菊池保健所	364	13	6	5	118	2		4	5			15		2					
阿蘇保健所	52				5								*	*					
御船保健所	78	2		1	32			3					*	*					
八代保健所	329	3	2	4	67	8		4	1										
水俣保健所	63	10	2	2	7	1		1	4				*	*					
人吉保健所	210	7		1	17			3	3			6	*	*					
有明保健所	260	2	6	5	108			3	3			13							
宇城保健所	242	5		10	31			4	2			3	*	*					
天草保健所	163	8	2	11	29			1	3			1							
計	2700	58	32	86	604	18	2	48	27	0	1	68	0	22	0	1	3	0	7

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	2700	10	44	146	149	147	215	215	192	155	168	111	332	71	117	173	178	109	100	33	35
小児科定点年齢	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	58	14	16	17	5	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	32	0	1	9	1	2	3	5	5	2	0	1	3	0	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	86	0	0	3	5	7	15	17	7	10	5	3	12	2	0						
感染性胃腸炎	604	7	28	99	79	58	62	36	31	25	18	26	65	16	54						
水痘	18	1	0	2	3	1	0	4	2	3	2	0	0	0	0						
手足口病	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0						
伝染性紅斑	48	0	0	1	5	2	9	8	8	5	7	1	1	0	1						
突発性発しん	27	1	12	11	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎	68	0	1	2	11	11	5	9	11	6	2	6	3	0	1						
眼科定点年齢区分	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	22	0	0	1	3	1	1	0	0	0	0	1	2	0	1	6	3	0	3	0	0
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	3	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	7	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

インフルエンザ患者報告数が警報レベルを超えました!

2月15日~2月21日の県内のインフルエンザの報告数は、2,700件となって警報レベルを超えています。前週2月8日~2月14日の2,570件に比べ、報告数は約1.05倍に増加し、12週連続で報告数は増加しています。

保健所別では、八代、菊池、人吉、宇城、山鹿、熊本市、有明地域が警報レベルを超え、天草、水俣、阿蘇、御船地域が注意警報レベルを超えています。今後も警戒が必要です。



インフルエンザの予防方法

1.時間をかけた丁寧な手洗い
流水や石けんでの手洗いは、手指についたウイルスを洗い流す効果があるといわれています。ただし、洗いやすすぎが不十分だとウイルスを完全に除去することができません。20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを心がけましょう。指先・手首・指の付け根は、特に丁寧に洗いましょう。さらに、手洗いの後に、アルコール消毒を行うとより効果的です。

2.咳エチケット
咳やくしゃみは他の人に向けないようにしましょう。また、咳やくしゃみがある時は、できるだけマスクをつけましょう。特に、手のひらで受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。マスクは、感染者がつけたほうが、感染予防効果は高いといわれています。

※熊本県のホームページ
「今冬のインフルエンザ総合対策に取り組みましよう」
http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_13799.html

